

自轉車行軍の記

平青年訓練生 圓谷定一

(一) こうなれば吾等愛車も價値なしだ。

背負つて進む、勇敢な行軍だ。重いぞ、肩がギリギリする。車輪を水に浸せば廻轉が、等と言ふ奴がある。水に浸しながら引張る、泥を落して進む事約一里、へこへこになる。「オイ木澤君どうした、弱つたな。自轉車を背負つてやるか。元氣を出せ、泣き面をするな。帝國軍人たるものがアハ、ハ、ハ、」

鹿島小學校に着いた時は十二時過ぎだ。腹がペコペコだ。「辨當を喰べろ」の號令を待つ間もなく、はばばつた。大きな握飯「うまいな」。二つ三つの握飯はたちまちだ。有難いことにはこんな時味的美と舌を問ふまでもなく、美味の中に胃の腑を満足することが出るものである。一人で感じ入つた。

ゆつくりする間もなく、又も自轉車を背負つて進む、全く閉口頓首再拜だ。

「馬は進まず車はゆかず」(進軍の唄)進軍の唄、調子が悲痛な氣持を心に叫び出す。これはまだ幾多のユーモアをまじてゐるからい。

咄! しぶん水に聲ありあつ! 川に落ちた奴があるぞどうした、夏とはいひ入梅季節だ「さぞ冷いだらう」「服をしばつてやれ」「乾してやれ」やうやく湯本、小名本街道に出た。「なんてよい道路だらう、今までと違つて清潔な道だ、何んだか地獄の道から極樂の道にきた様だ」

敵は今小名濱町方面に退却新に上陸した敵と全體したやうだ、愈々追撃は始められた。地の理を判じて車輪は一路南を指す、刺剣して隠れ進む傳令来る、なほ進む、頭を低くして地面に這ふて……

お、敵は彼方の橋の上に機關銃を備えて待つ、吾等は兵を二手に分けて迫る、本隊は正面より之を向ふ。

六月廿八日午後一時より
全 廿九日午前九時より 午後四時迄

◎二日間連続講習 ◎講習無料

みやこ染講習會

會場 平第二小學校講堂

主催 平 婦 人 會
平 女子 青年 團

後援 平 業 業 會

日活超特作映畫
大河内傳次郎・伏見直江

原作・林不忘氏 文藝俱樂部連載

續大岡政談

監督・脚色・伊藤大輔氏
享保庚寅の元旦、江戸城西丸御書院番詰所に於て戀の勝利者、神尾裕之助に番士十七名が駕倒を浴せた事によつて、端を發す突如……詰所に投げ込まれた生首、大岡越前の出馬、事件は風風の如く捲き起つてくる

松竹現代派大作映畫

3 善 人 全

日活作品
牡丹燈の記 全
楠英二郎・市川小文治 共演
櫻井京子・尾上桃華

料 金 普通
館 平 活 日 松 普通
電 466

三井の浴衣デー

今年好評な品を……うづ高く積んで
皆々様の御来店を待致して居ります

婦人俱樂部浴衣
音曲 ゆかた 陳列
歌集 ゆかた

三井呉服店

平町 電話 三五八番
七五一番

磐城炭礦最優等炭

石 炭 正味十貫目 一俵金六十錢

東京死旗コークス一等品 一俵金一圓二十錢

コークス 一俵金一圓二十錢

木炭代用 無煙、無臭、家庭用炭

玉 炭 一箱貳 圓也

石炭は日方の正確を期する爲め
正味十貫目を一俵の標準と定めました

配 達 迅 速 (電話二三三七番)

磐城炭礦販賣總代理店

阿部石炭商店

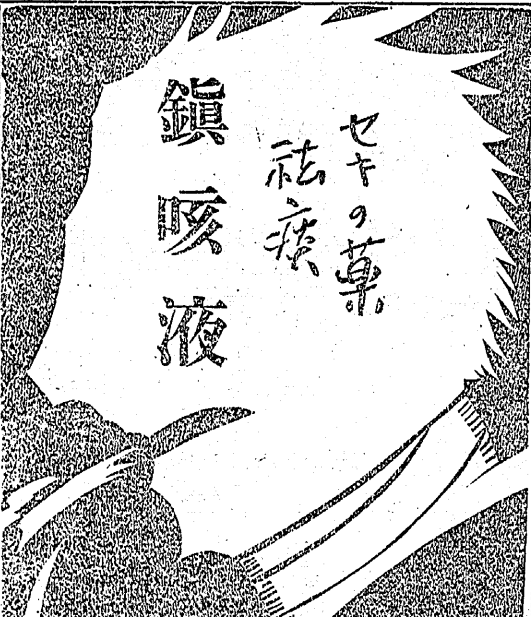
耳鼻咽喉科専門

氣管食道科専門

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院

電話一七〇番



セキヨウ薬
祛痰
鎮咳液

特約店 關内藥局
平町四丁目 電話四〇番

二葉印刷所

平町 電話 七三四番

耳鼻咽喉科専門

應入院 合津醫院

平町仲田町七一 電話五五九番



BISHINGAN
子宮美神丸

こんな徴候の人々は一時も早く治療すべきです
●血帯下、赤帯下、コシケ多き人 ●下腹痛く筋張り又は
つる人 ●子宮冷感、腰脚の冷え又は痺れる人 ●月經不順
月經時に腹痛の痛む人 ●神経衰弱、ヒステリアの人 ●月經
の前後に白粘つたこしげが下る人 ●子宮痛、尿意頻り
●子宮痛、眩暈する人 ●肩が凝り又は背が痛む人 ●逆産
頭痛、耳鳴、眩暈する人 ●疑又は背が痛む人 ●逆産
早産する人 定價(一週分)一・四〇(二週分)二・八〇(三週分)三・五〇

代理店 平町五丁目角 山野邊藥局

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五(電話七三三番)

川井内科診療所

醫學士 川井重子
女醫 川井安子

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話 六八番